

江戸太神楽 丸一仙翁社中

鈴仙（すずせん） プロフィール



東京は墨田区東駒形生まれ。
2002年9月、江戸太神楽十三代家元
鏡味小仙(現・丸一仙翁)に師事。
同年12月に鈴仙の名を拝命し、様々な
イベント、舞台などに出演。
獅子舞・曲芸・鳴り物などさらなる技芸
向上を目指し、研鑽を積む。

◆◆◆出演実績◆◆◆

【舞台】

「ひとつのメルヘン舞踊会」(内幸町ホール)、
「一粒万倍 A SEED」(観世能楽堂)

【イベント】

東京寄席、柴又参道寄席、ホテル、ショ
ッピングモール、幼稚園、保育園、介護
施設、各種イベント・パーティー、はと
バスシンフォニー船内イベント、東京ス
カイツリー、東京都民俗芸能大会、日本
橋・門付け、柴又商店街・門付けなど

◆◆◆演目の数々◆◆◆

◎寿獅子舞

江戸時代から続く、厄除け悪魔払いの
獅子舞です。江戸時代は大小の屋敷を
軒別に回り“門付け”していたといわ
れる江戸太神楽の獅子舞。

◎傘の曲

末広がる和傘の上で色々な品物を廻
す、お馴染みのおめでたい曲芸。

◎水雲井の曲◎

太神楽十三番のうち唯一お水を使った
曲芸です。長い竿の上にお水の入った
グラスをのせ、高く持ち上げます。最
後はあっと驚く仕掛けが！

